

2024 年度セメスター留学 報告書

留学先

ダブリンシティ大学



① 留学を決意するまでの経緯

小学校高学年の時から英会話を習っていて、そのころから英語に触れる楽しさを感じていた。しかし週に 1 回のわずか 1 時間という少ない時間の中で、自分の英語力の成長をあまり実感できずにいた。中学に上がったときにはぼんやりと「自分の英語力を試すために将来留学してみたいな」と思うようになり、3 年次から始まる就職活動と時期が被らないようにするために 2 年生の秋に行くことを決意した。留学先をアイルランドに決めた理由は、いくつか候補がある中で知名度が低く、あまり馴染みがない国だったからである。そのため、他の人よりも貴重な経験ができるだろうと考えた。また、小さい頃からヨーロッパに興味があり、もしアイルランドを留学先に選んだら他のヨーロッパの国に旅行できるのではないかと考え、アイルランド留学を決意した。

② 留学までに努力したこと・取り組んだこと

中京大学のグローバル人材育成コースというオンライン英会話プログラムに力を入れた。留学前から少しでも英語を耳に慣れさせることと、留学中の給付奨学金を貰うことを目的として、週 4 日の 1 日 2 時間外国人の先生とのマンツーマン指導で英会話を学んだ。大学とアルバイトと英会話の 3 つを成り立たせるのは難しかったが、早起きをして大学の授業前に英会話を入れるなど、時間を有効活用してなんとか 1 度も振替せずに乗り切ることができた。また、留学先での娯楽用の資金を集めるためにアルバイトにも真剣に取り組んだ。アイルランドは物価が高いと分かっていたので、少しでも足しになるように平均して週 3 日働いた。それまでの生活と比較すると、非常に忙しい生活を送っていてよく乗り越えたなと思った。

③ 留学中に経験したこと・感じたこと

この 3 か月半の留学で貴重な経験がたくさんできた。私が 1 番思い出に残っていることは、国籍の異なる友達ができただけである。今まで日本から出たことがなく、海外の人と友達になる機会がなかったので、仲良くなれて嬉しかった。元々同じクラスだった日本出身 4 人、チリ出身 1 人、ブラジル出身 1 人の計 6 人で仲良くなり、クラスがみんな別れた後も定期的に集まってパブに行ったり家でボードゲームをしたりとても充実した時間を過ごした。日本では歳が上なだけで偉いという風潮があるが、この 6 人の年代はバラバラでも年齢差を全く感じないくらいお互いが一緒にいる時間を楽しんだ。日本食を振舞うことで日本のことについて知ってもらって嬉しかった。また、11 月にサッカーの男子代表戦を観に行けたことはとても印象に残った。アイルランド vs フィンランドの試合を観戦した。私たちの席はゴール裏で、点数入れた瞬間のプレーをはっきりとみることができた。右隣にはフィンランドサポーターがおり、サポーターももちろんアイルランド vs フィンランドという構図になっていた。白熱した試合も応援も、とても盛り上がっていて面白かった。結果は 1-0 で、アイルランドの勝利で終わった。そもそもサッカー観戦するのが人生初だったので、全く知らない選手が出ている試合でもこんなに楽しめたのだから日本代表で知っている選手だったらもっと楽しかったのかなと感じた。スポーツはやっぱいいなと思った。12 月の最後の週には 2 泊 3 日でドイツ旅行に行った。ヨーロッパ旅行をすることは、アイルランド留学を選んだ 1 つの理由でもあったのでとても楽しみにしていた。1 日目はフランクフルト、2 日目はケルンで観光をした。本場のクリスマスマーケットを味わうためにこの 2 つの都市を選んだので 3 日間全で行った。どこのクリスマスマーケットも大きなツリーが設置されており、綺麗なデコレーションがされていた。大混雑奥に進むのに苦労したが、一生分のクリスマスを味わうことができた。ホットドリンクを買ってご当地限定のマグカップをそのまま持って帰ることができるので 2 都市分のマグカップを思い出として持って帰った。クリスマスシーズンのワクワク感に改めて気づいたので、クリスマスグッズをお土産としていくつか購入して、自分の家でもこれからクリスマスを積極的に取り入れることにした。そして、この留学が上手くいったのはホストファミリーの存在が大きかった。私がお世話になったホストファミリーはとても親切で、私の英語がどんなに拙くても私が話そうとするのを遮ることなく理解しようとしてくれていた。ホストマザーは毎日美味しい料理を私たちに振舞ってくれ、大の音楽好きなホストファザーは定期的にロックバンドを紹介してくれた。帰国前に「英語が十分聞き取れるようになったね」と言ってくれた時は、自分の成長を感じることができてとても嬉しかった。アイルランド留学を選択して、日本では味わえないような経験をたくさんできて本当に良かったと思う。

④ 留学後の変化・今後の計画

この留学中に英語力が徐々に向上していったことは確かである。最初の頃は先生の話についていけなかったり、ホストマザーが喋っていることが理解できなかったりしたが、常に英語の中で生活することで耳が慣れて聞き取れるようになっていった。また、海外で 3 か月半生活することで 1 人行動を躊躇わずにできるようになった。そもそも留学すると決めたのは自分自身なのであまり苦ではなかった。限られた時間の中で後悔しないように 1 人でも行きたいところに行くということを心に決めており、1 人でも友達という時と同じくらい十分に楽しむことができたようになった。将来の夢は明確にはまだ決まっていなかったが英語や海外の文化に触れることができるような職業に就きたいと思っているので、これからの休み期間で英語の勉強に励みたい。TOEIC の点数を伸ばしていきたい。また、将来役に立ちそうな資格の勉強を始めて、社会人になるための知識を増やしたいと思う。